

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
平成 28 年度第 1 回契約監視委員会審議概要

1 開催日

平成 28 年 5 月 16 日（月）13 時 30 分～15 時 45 分

2 開催場所

本部事務所特別会議室

3 出席委員（敬称略）

委員長 清水 幹裕（弁護士）

委員 青山 伸一（公認会計士）

委員 村岡 功（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

4 議題

- （1）平成 27 年度契約（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月）の点検について
- （2）平成 27 年度調達等合理化計画の実施結果に関する点検について

5 審議概要

- （1）平成 27 年度契約（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月）の点検について

審議対象期間における契約案件 195 件のうち 4 件（競争性のない随意契約 1 件、一般競争入札による契約 2 件、企画競争による随意契約 1 件）を抽出し、随意契約事由の妥当性、競争性の確保等に関する点検を行った。

委員からの主な意見・質問、それに対する回答は次のとおりである。

（意見）競争性のある契約のうち一者応札・応募となっている契約案件については、効率性や経済性を考慮した上で、競争性を確保できるような適切な公告期間や等級設定を検討すべきと思われる。

（回答）依頼部署との事前調整を早めに行い、余裕をもったスケジュール管理を徹底し、公告期間を延ばす取組を行う。また、等級設定については、競争参加者が見込まれない限定的な状況を考慮し、等級設定を拡大するなどの検討を行う。

（意見）仕様書の内容が競争性を確保する記載となっているか点検する必要があるため、今後は審議資料として仕様書等を準備してほしい。

（回答）次回から準備させていただく。

- （2）平成 27 年度調達等合理化計画の実施結果に関する点検について

平成 27 年度調達等合理化計画の実施状況についての自己評価に関する点検を行った。

委員からの主な意見・質問、それに対する回答は次のとおりである。

(意見)「発注見通しの事前公表」に関しては、評価指標が「入札案件のうち発注見通しを掲載した件数」となっている。工事の入札案件は15件を実施しているが、物品・役務の入札案件は未実施となっている。全ての入札案件について実施することは難しいと思われるので、自己評価における「今後の課題・対応方針」の記載内容を検討してはいかがか。

(回答) 記載内容について検討する。今年度は、物品・役務の入札案件についても依頼部署とスケジュール調整を行うなどして、可能な限り実施したいと考えている。

(説明)「参加者確認公募への移行要件の整理」に関しては、19件(特命随意契約3件、2か年連続で一者応札・応募となっている契約案件16件)について検証を行い、移行要件の整理ができたことから、今年度は適正契約検証チームで内容確認を行った上で、随意契約事前確認公募に付するかどうかの検証を行っていききたい。

(意見) 個々の契約案件の随意契約事前確認公募への移行については、次回6月開催の議題として点検することとする。移行要件の整理については、特に意見はない。

(質問)「オープンカウンタ方式の導入」に関しては、オープンカウンタ方式に適するもの、適さないものを整理して実施していくことが必要と思われるが、具体的にどのような案件について実施したのか。また、どのような効果があったのか。

(回答) 消火器の購入について導入したところ、複数者が参加し、契約金額について競争原理が働いている。ただし、事務量が大幅に増加するため、効果が期待できる案件に絞ってオープンカウンタ方式を推進していききたいと考えている。

## 6 審議結果

- ・ 個々の契約案件のうち、一者応札・応募となっている契約案件については、効率性や経済性を考慮した上で、競争性を確保できるような適切な公告期間や等級設定を検討すること。
- ・ 平成27年度調達等合理化計画の自己評価については、特に問題はないが、随意契約事前確認公募への移行については、次回6月開催の委員会において点検する。